

世界の薬物乱用状況



中枢神経を冒されて脳や体はもうメチャクチャ!

シンナー(接着剤)など

脳・気管支・肺・胃・肝臓・胆・心臓・肝臓・骨盤への影響



▲脳：大脳の神経細胞の死滅による脳の萎縮
(運動障害、記憶力低下、幻覚、妄想)



▲眼：視神經がおかれる、眼底出血があこる
(视力低下、失明)



▲肺：痰がぼろぼろになる



▼気管支・肺：粘膜がおかれる
(せきが出る)



粘膜がおかれていて、痰が止まることもある

▼肝臓：細胞の一部が死ぬ
(消化不順、黄疸、腹水)



細胞の一部が死んでいる



骨盤がおかれていて

▲骨盤：赤血球がつくられなくなる
(貧血)



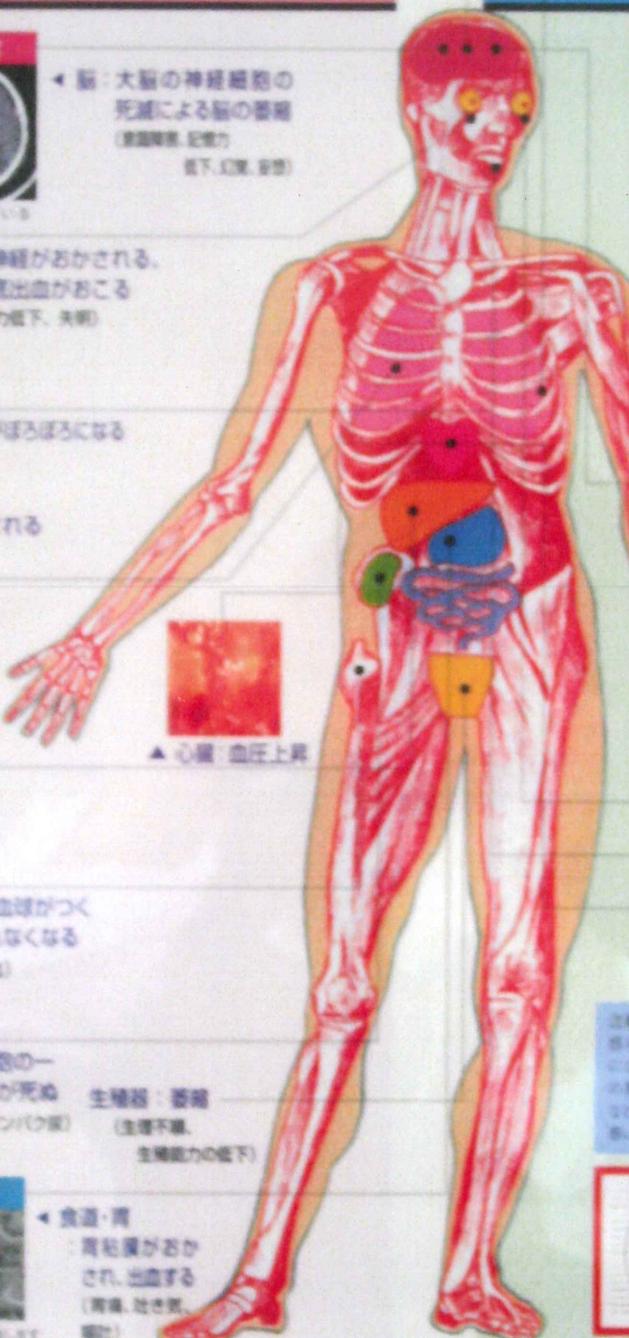
細胞の一部が死んでいる

▲腎臓：細胞の一部が死ぬ 生殖器：萎縮
(タンパク尿) (生育不順、生精能力の低下)



糞便の量が増えて出ます

▲食道・胃：胃粘膜がおかされ、出血する
(嘔吐、吐き気、嘔吐)



覚せい剤

脳・胃・肝臓・心臓・肝臓への影響



○自然再燃現象(フレッシュドリフト)



薬物の乱用の者は半永久的に続きます。薬物の乱用でかかがる者や既往歴者などの精神疾患が発症すると、治療によって改善には回復しているにもかかわらず、精神疾患が再びおこりやすい下地が残ってしまうのです。乱用をやめ、患者の生活に適ったようでも、何かの刺激によって突然、幻覚・妄想などの精神疾患が再発することがあります。これをフレッシュドリフト(既往歴)、亂用から、お酒を飲んだり心地のいい毒品などを法人の小さなきっかけであこぎてしまうのです。

精神障害

薬物乱用の者は、半永久的に続きます。乱用をやめ、治療を行なって通常の生活にももどったようでも、回復中の期間で突然精神障害が起こることがあります。これを再燃現象(フレッシュドリフト)といいます。覚せい剤の乱用でひとたび精神障害が生じると、治療によって改善していよいよ精神障害が再発する下地が残ってしまいます。

瞳孔散大(目：精神活動の亢進)

意識混濁(心：精神活動の亢進)

血圧上昇(心：精神活動の亢進)

静脈炎

乱用する場合には、各種の感染症(インフルエンザ等)の原因になります。また、大腸では、精子の異常が、コロイドでは免疫力異常などの病気がおり、妊娠、出産にも影響があります。

シートなどに包むのに使われる紙袋などに、薬の内側に手のひらの形を描いてあります。そして乱用前の手袋には、薬が残ります。問題がない限り、手袋が残さず手に、足で触れない大きな壁です。



シンナー乱用者がおのづかしくして、手が震えてうなづき過ぎておのずかしくしてしまいます。

マリファナ

脳・肺・気管支・心臓への影響

精神障害

- 精神妄想
- 幻覚

肺がん

大麻乱用者が多い肺癌の一因、吸煙の量が大きくなります。

大麻は有害なものとして世界的に規制されています。大麻を吸うこと、感覚が現實になってしまひ、われの分からない妄想状態になることがあります。また、無動機症候群といって、毎日ゴロゴロしているだけ何もせざる覺のない状態になることがあります。幻覚や妄想が頭で精神障害を引き出します。

染色体異常

北海道健康づくり財團

向精神薬

脳・気管支・肺・心臓への影響

精神障害

- 感情不安定・暴りやすい、判断力低下
- 歩行失調

向精神薬は、中枢神経に作用して、種々の機能に影響を及ぼす薬で、具体的には、睡眠薬や精神安定薬、中性精神薬などがあります。向精神薬の過剰せんが副作用として挙げられる、意識の前方せんが影響化している。暴力の現れ精神の異常を抑えるため、睡眠・眠眠する薬剤が発生し、手口も、意識障害の医療従事者、看護師に心筋梗塞、冠状動脈硬化症、高血圧などの疾患が認めています。

薬物乱用のきっかけ

両親や身近な人に勧められたり、海外旅行先で遊び半分に使ううちに薬物の依存性に染まってしまうケース。また喫煙行ったパーティで使用したり、「やせる系」で購入した「麻薬が済める」と記載して販売している薬局に、つい乗せられないほど販売をもって勝ることが大切です。

●せい薬に騙される

●使うつから過敏



●ブループラスの

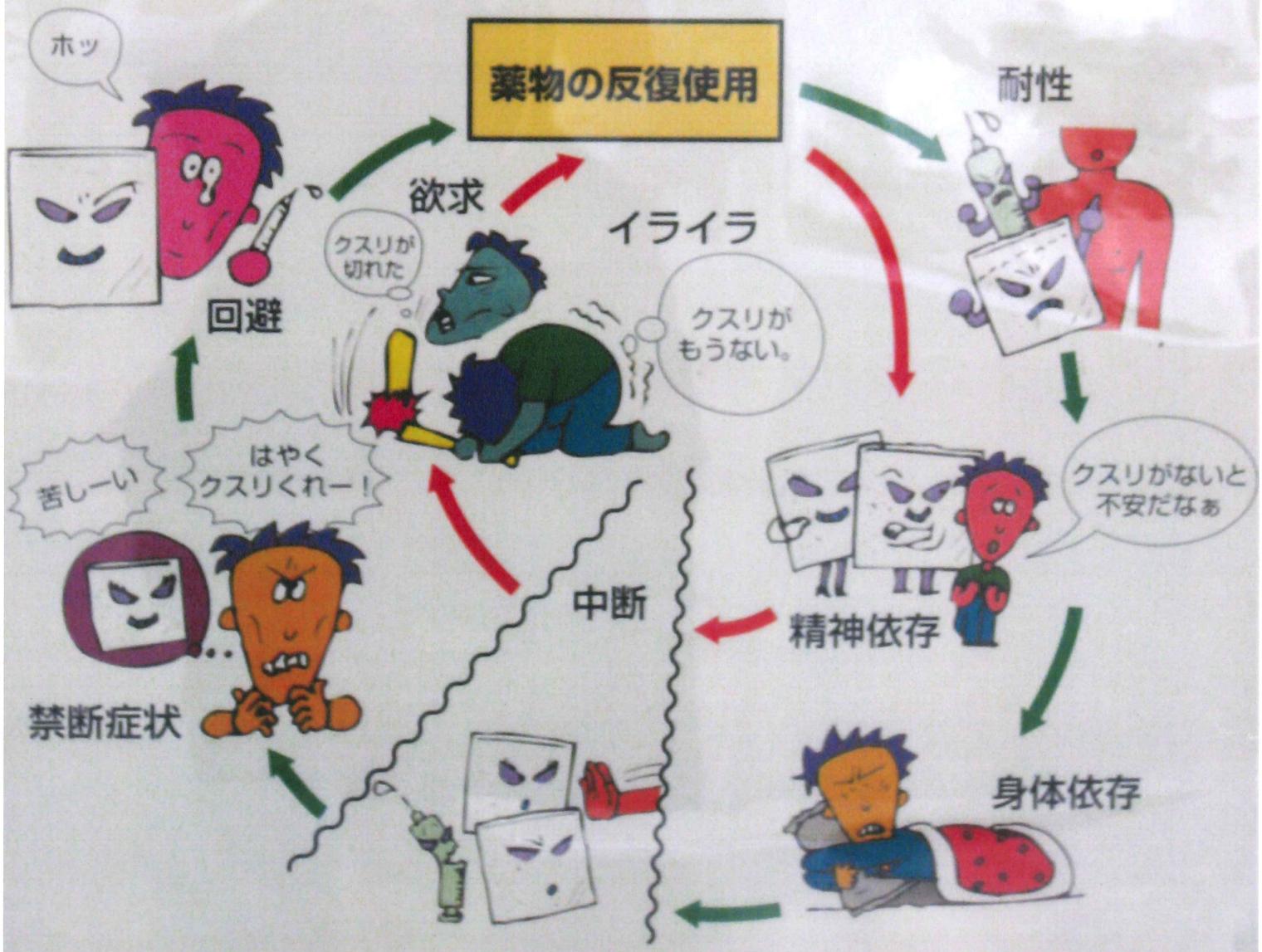
●赤心のあこがれ

薬物乱用はいったんはじめると、やめられなくなります

依存性の強い乱用薬物は、一度でも乱用するとともどらなくなります。薬物の効果がきれるとまた薬物が欲しくなって自分の意志がきかなくなります。さらに薬物への要求は激しくなり、強迫的な使用へとつながってゆきます。薬物によってはさらに身体依存の悪循環となり、深みにはまります。こうして、自分の意志では薬物使用のコントロールがきかなくなった状態を薬物依存といいます。

薬物依存の2つの悪循環(精神依存と身体依存)

薬物を乱用すると自力ではなかなか
やめられず、何度もくりかえすことになる



一度こわれた脳は、もとにもどらない

(薬物乱用により精神の障害が現れます)



シビレて
自由に
動けない



物が大きく見える(巨視)
物が小さく見える(小視)
物の形が変わって見える(変形視)
実在しないものが見える(幻視)



考える力が
弱くなり、
記憶もうすれる



手足がふるえる
手足の動きが
スムーズでなくなる



このように
魂が抜けたような
姿になるぞ

実在しない音が聞こえる(幻聴)

大麻=マリファナ の各種形状



乾燥大麻



ブッダスティックと呼ぶ



大麻タバコ



ハシシュオイルという

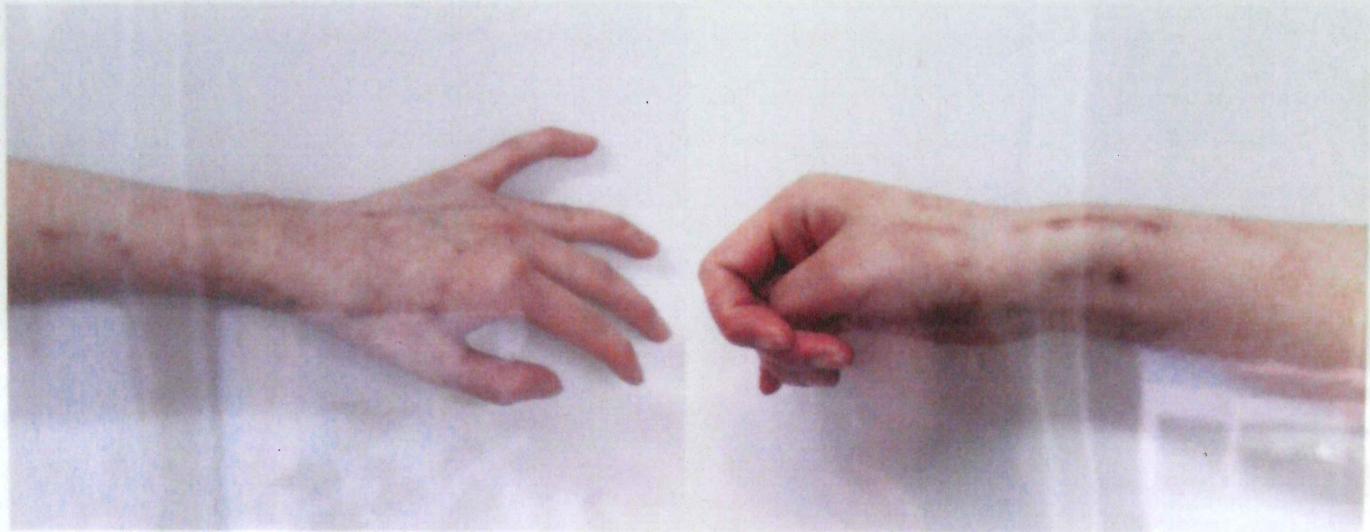


大麻の樹脂



樹脂の粉末

手・脚に多数の注射痕



コカイン



コカ葉



密造コカイン



マテーデコカ、茶として飲用する



密売コカイン



クラックと呼ばれるもの

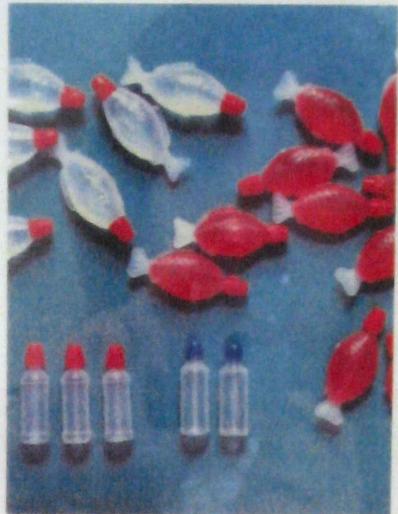


密売用の包みとコカイン

覚せい剤



通称(ガンコロ)



飲む覚せい剤
(キンギョ、ロケットともいう)



パケ(覚せい剤の小袋)
と注射器



腕の静脈に注射したあと



ミミズばれになった注射のあと



押収された約80kgの覚せい剤



足の血管にそって打ちミミズばれになる

罰則 密輸すると 無期もしくは3年以上の懲役、
500万円以下の罰金。
所持、売買すると 1年以上の有期懲役、
300万円以下の罰金。
使用すると 1年以上の有期懲役、
300万円以下の罰金。

アヘンとケシからつくられる麻薬



アヘン



けしがら



粗製ヘロイン



ヘロイン(左)とモルヒネ(医療用)



粉末状ヘロイン



固形ヘロイン



固形ヘロイン

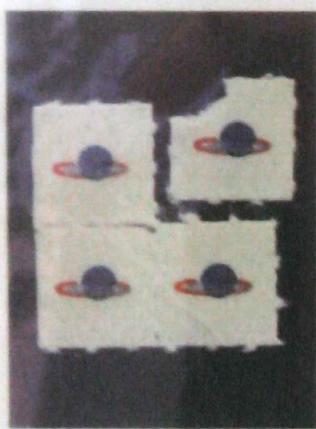
LSDと2C-B(幻覚剤)

LSD

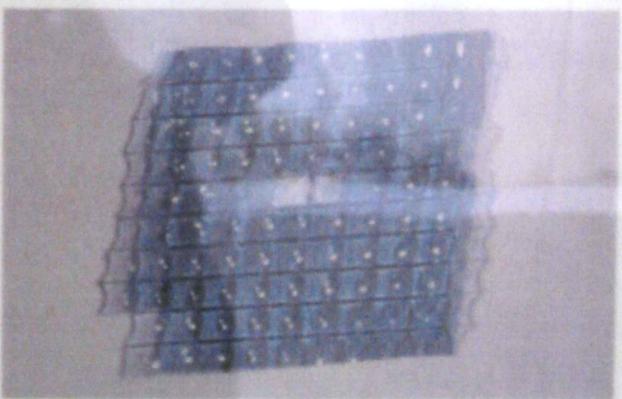
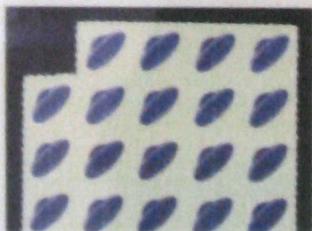
LSDの形態は、錠剤、粉末、カプセル、水溶液を紙に浸み込ませたものなど多様化し、その姿を変えている。幻覚作用が強い。



紙LSD *紙LSDは1cm²前後の大きさでちぎって飲み込む。



黄色錠剤状と粉末LSD



ウンドーベイン(ゼラチンに含ませたもの)

エクスタシー

MDEA
(エクスタシー)



MDMA
(エクスタシー)

